

「安心して医療を受けたい!」「これ以上の負担はムリ!」患者さんの困難や願いが溢れています  
～アンケート付リーフ調査に寄せられた声(一部抜粋)～

2023/4/10

全国保険医団体連合会医療運動推進本部

期間:2022年10月22日～2023年3月24日(最終集計)回答数:17616人

方法:医療機関の待合室や保険医協会・医会のイベントなどで配布、新聞折り込み

### ◆75歳以上の人の声◆

#### 昨年10月から2割負担に「2割は負担が重い」「受診を減らすことも検討」

・介護保険について、私の主人ですが、以前は要介護2だったのが、介護用品を買わなくなった事の理由で要支援になりました。毎月の支払いがしんどいという事で、病院にも行かず薬も飲んでません。これっておかしいと思います。今の年金では生活はムリです。やはり、老人は早く死ぬということです。

(76歳・2割)

- ・2割負担になったので来年からは受診を減らそうと思っている。軍事費に回すな。(78歳・2割)
- ・2割負担は大きい。保険料はたくさん払っているのに窓口2割は大反対(79歳・2割)
- ・脊柱管狭窄症の手術費用(15万円)を娘に出してもらった。介護の負担が急に上がって毎月2万円収めることになった。大変!(80歳・2割)
- ・医療や介護の保険料が高くなり困ります(81歳・2割)
- ・がん(右ほほ部細胞癌)の手術をした。7万円ほどかかった。年なので保険はずずめの涙。1割の時よかったが。近くに非課税の世帯がおられるがどちらがいいのか。家内も肝臓がんで入院せんといかんらしい。受診を控える状態でもないのでもここに来てやっぱり1割UPはえらい。(86歳・2割)
- ・受診前からどれだけ現金が必要か心配している(82歳・2割)

#### 保険料が高い(75歳以上・2割負担)

・社会保険料で納めた金額は昨年と比較し11,000円増加した。受診している年金は昨年と比較し6500円減少した。17,500円苦しくなった。(82歳・2割)

・年金支給額の減少、介護保険料、健康保険料の負担増、医療費の1割から2割への負担増、物価高、マイナンバーカード移行への負担増と高齢者には厳しい状況が続いています。(79歳・2割)

・医療保険料・介護保険料など、年々高額になる。年齢が進むと病気も増えるが収入(年金)は増えないので生活費を切りつめてそれらに充て、将来に備えなくてはならない。今の諸制度もいつまでも続くか信頼がおけず不安を感じるばかりである。医療・年金・介護などはすべての国民の問題なので、絶対変更されないものを備えておく必要があると思う。悪い方悪い方へと変化していくように思えて不安ばかり感じる毎日です。長生きは地獄への入口とってしまう。(75歳・2割)

・高齢者医療保険料や介護保険料等、毎月の年金から差し引かれているので、少ない年金が益々少なくなり、キチンと払っているにもかかわらず利用料が上がって何のための保険かと腹立たしくなります。国のやり方は間違っている!国民をいじめることしか考えていない。(78歳・2割)

・受診料が2割は仕方ないと払っているが、年金から引かれる後期高齢者医療保険料や介護保険料が高いので、生活にはひびくし、1割から2割に負担がふえたことも物価の値上がり、これからの生活が不安。(84歳・2割)

・医療費窓口負担が2割に、介護保険料の大幅アップで年金額はダウン。来年4月から介護保険サービスが大幅後退の検討。年金制度は若い人にも影響が大きい。不安、何デヤネン(87歳・2割)

・年金受給者です。夫婦とも後期高齢者であり、医療保険料、介護保険料の負担が収入に対し、あまりにも高額のため、将来について不安を大いに感じています。(78歳・2割)

## **医療・介護の負担重い 1割負担でも大変**

- ・主人が介護施設に今年始めから入所しましたが、利用料の負担が意外と多くびっくりしました。息子がいますのでなんとか出来てます。(75歳・1割)
- ・諸物価が次々と高騰し国民年金者にとって、生活が苦しいばかりです。年と共に体調も悪くなるばかり…ガマンしてそれでも痛みが勝てば医者に行きます。(77歳・1割)
- ・介護保険料が負担増で困っています。(78歳・1割)
- ・物価が上がり、年金額は減り、年齢的にも仕事はできず、家計を圧迫している。大変なのに…(79歳・1割)
- ・今は元気で過ごしておりますがこれからは不安です。貯えも底がついて来たら受診しづらくなるのでは？健康に気をつけています。(80歳・1割)
- ・医療費がかさむ。入院(心不全、腎不全を治療中)を出来る限りしないように、生活全体を見直しているが、ヒヤヒヤ感いっぱい。病期進行と同時に多額の医療費も大きな心配です。(86歳・1割)
- ・年金暮らしで、たくさん受診が必要なので家族に負担をかけて申し訳なく思っている。これ以上医療制度(保障)が悪くなると困る。(88歳・1割)

## **◆前期高齢者(65歳~74歳)の声◆受診控えも経験 将来への不安が強い**

- ・病院の回数、受診料が増えてくるので出費が増え、これからは心配です。(65歳・3割)
- ・介護保険の利用者負担やケアプラン有料化のニュースを聞くと、これからは心配になります。2割負担になったら、受診も控えていくようになると思っています。(66歳・3割)
- ・月末にお金がなくて受診できなかった。(67歳・2割)
- ・以前、病院での窓口負担が高くて受診することができなくなった。2年くらい病院に行くのを止めた。(67歳・3割)
- ・月3回を2回に受診、薬減らした。介護保険はどんどん給付範囲を減らし、対象者を締め出している。これは国による制度を通じた殺人行為だと考えます。福祉が人を殺すこの道は国の自殺行為であり、あってはならない。そして軍事費を増やすことは軍国主義とも考えます。軍事費を減らして、医療、福祉、教育に回す。これが人民を守る事。(72歳・2割)
- ・ひとり暮らしで病院に行ったとき、いくらかかるか不安になる。年金はひと月5万円程度。収入もない。(72歳・2割)
- ・来年75歳で後期高齢者になるが75歳以上の医療費窓口負担2割負担に該当するのか不安です(74歳・3割)

## **◆現役世代の声◆**

### **現役世代にとっても負担が重い**

- ・生活に負担がかかるので、本当に病院を受診する時にどうしようかと悩むことはストレスになる。(25歳・3割)
- ・定期的に通うつもりだったが、窓口負担と薬局の薬代が毎回負担になったので症状が完全によくなる前に受診をやめてしまった(32歳・3割)
- ・1ヶ月に何回か通ったり複数の医療にかかるとう医療費が1万は超えるので回数を減らすか我慢できるなら受診を控えている(37歳・3割)
- ・毎日必要な薬だとわかっているが、金銭的負担は大きいです。(38歳・3割)
- ・乳がん検診など、気になる検診を毎年受けたいが自費になるので、何個も検査をするのは高額になるのでやはり控えてしまおうと考える時がある。取り返しのつかない事にならないかも心配もあり、経済面との葛藤がある(41歳・3割)
- ・定期受診はしているが、少しの不調や痛みは医療費の負担を考えて我慢することがある(46歳・3割)
- ・物価上昇の為生活するのが大変になっているので給料日以降すぐ行くようにはしていますが、なかなか難しいこともあります。子どもの事が先にまだお金がかかるので病院に行ける様がんばります。健康

が一番ですね。(47歳・3割)

- ・受診が重なると医療費の負担が多少厳しく思う。(52歳・3割)
- ・医療費がどんどん高くなって受診が厳しくなっている。富裕層にもっと負担してもらえばよい(53歳・3割)
- ・賃金は全然上がらない下でも医療費増加、食品高騰、消費税 3%から 10%で生活大変(64歳・3割)

### 現役世代も将来が不安

- ・今はあまり病院に行かないですが、この先が不安です。(23歳・3割)
- ・社会保障がどんどん上がっていけば受診控えも考えなければならないことになりそう。(26歳・3割)
- ・収入が少ないのに、医療費の負担が増えるのは死活問題だと思います。今後現状が続けば、もっと受診を控える事も増えると思います。(38歳・3割)
- ・今は困っていないが、年齢を重ねるにつれ病院に通う機会も増える事が予想される。収入もいつどうなるかわからない。そのような中、将来、経済的な理由で、受診を躊躇う事のないような制度であり続けて欲しいと願っている。(38歳・3割)
- ・今後、老後の保険料などが高くなりそうで心配です。(39歳・3割)
- ・今はいいけど、まだ子どもも小さいので、年をとって受診が増えると怖い。(46歳・3割)
- ・必要な薬なので受診はしているが、物価も上がり、給料は変わらずで生活がキツイ。このままだと、受診を控える日も来てしまうのではないかと考えてしまう。高齢者でも 2割負担の人が出てきているので、今後は両親の医療費も心配している。(46歳・3割)
- ・働ける間はいいが、高齢者は大変だと思う。(50歳・3割)
- ・これから先、自分たちの負担分を考えると暗い気持ちになる。1日3食食べれるのか・・・とマジで考えます。(55歳・3割)

今は主人と 2人共働きでまだ少しは余裕ありますが、どちらか 1人になったり働けなくなったら病院に通う余裕もなくなるかもしれないし、病院どころか食べていくのも大変になるかもしれません。パートや自営業は収入も少ないので、同じ仕事をさせられるなら正職員と賃金を同じにして欲しい。税金を下げるなど社会的弱者をもっと守る社会にして欲しい。

(57歳・3割)

- ・今は働いてある程度の収入があるので 3割負担でもなんとか支払っていますが仕事を辞めた後のことが不安です(60歳・3割)
- ・現在は働いているので、必要に応じて病院には行っているが、将来どんどん負担割合が高くなるのではないかと不安になる。(61歳・3割)
- ・定年までは大丈夫と思われるが、定年(65歳)後は心配です。(62歳・3割)
- ・今はまだ現役で働いていますが、年金暮らしになったら、受診回数や薬を減らしてもらいたい不安があります。(63歳・3割)
- ・今後も受診を続けるのに将来的に医療費の窓口負担が変わらず高いと、病院に行くのを控えてしまいそうなので、負担が少なくなればいいと思う。(63歳・3割)
- ・今後年金生活になり、今までのように高額な治療や薬代を支払い続けることができるか不安である。(64歳・3割)
- ・介護保険の利用者負担やケアプラン有料化のニュースを聞くと、これからは心配になります。2割負担になったら、受診も控えていくようになると思っています。(66歳・3割)

### ◆子育て世代の声◆

#### 医療費助成があって助かる 高校生まで拡充を

- ・2才の子どもがいるのでよく病院には行っていますが、医療費助成がなかったらと思うとゾッとします。(40歳・3割)
- ・小児の福祉医療にはとても助かっています。子どもは急に不調を訴えるものの原因がわからなかったりするのですぐ病院に連れていけるので安心です。(5歳・0割)

- ・今は負担額がないので安心して病院に通えるが、子どもが学校を卒業するとなかなか病院に行けなくなるだろうと心配しています。(44 歳・0 割)
- ・今のところ必要な受診はできていますが、是非子どもの医療費無料化は高校卒業までを実現してほしいです。(55 歳・3 割)
- ・子ども医療費の補助制度を高校卒業までにしてほしいです。(14 歳・3 割)
- ・子ども 2 人が小児喘息で毎月受診をしています。薬が多いため、明細書を見るとぞっとします。しかし、子ども医療受給券のおかげでお薬代がかからないため、大変助かっています。これが自分だったらと思うと、医療機関の分も薬局も 3 割で、大変なことだと思う。この制度のお陰で、毎月安心して、経済的な心配なく受診出来ています。(40 歳・3 割)
- ・子どもの手当も減らされているので、子どもの医療費がかかるようになったら受診しにくくなるなど感じている。(35 歳・3 割)
- ・子どもの医療費が自治体によって違うので、今住んでいる所だと中学生から医療費がかかってしまうので、できれば高校卒業まで無償化してほしい。(30 歳・3 割)
- ・学生なので医療費を安くしてほしい(15、20 歳・3 割)
- ・インフルエンザ等のワクチン接種が高額なので毎年打つかを悩みます。補助していただけたらと思います(せめて学生の間だけでも)(16 歳・3 割)

## 保険でより良い歯科医療を！

### ◆歯科受診している人の声◆

#### 2割負担になったため、歯科受診を中断せざるを得ない

- ・負担が 2 割になったので歯科はやめました。眼科は目薬を 1 日 3 回を 2 回にして診察を伸ばしています。(80 歳・2 割)
- ・窓口負担が 2 割となり、耳鼻科、眼科、歯科の受診をためらっている。(82 歳・2 割)
- ・年金も減らされたため歯科に行きたいところですが苦しい。この先不安だらけ。(90 歳・2 割)

#### 受診したくても、経済的理由でためらってしまう

- ・歯科も本当は定期的に行った方がいいと思うが、痛みもないので通院せず。年齢的にも気になるが優先順位を考えてしまう。生活費の大半を医療費だけに使うことは出来ない。(55 歳・3 割)
- ・以前派遣で働いている間は受診を控えていました。特に歯科はもう何年も受診していません。気にはなるものの、費用がかかるので行くのに覚悟が必要です。(37 歳・3 割)
- ・歯科がとにかく高額に感じております。3 か月に 1 度の定期検診・虫歯なしで 1 万円近く払い、つらいので 4 か月に 1 度にしてもらいました。次回虫歯があればまた 3 か月に戻さなければなりません。が・・・。(45 歳・3 割)
- ・歯科、行きたいけど費用がいくらかかるか、通院がいつまでかかるか不安で行けない。痛みが強くなると行かないと思う。(33 歳・3 割)
- ・子どもが 3 人(高校生 2 人と中学生 1 人)いますが、医療費が高校生から支払う必要性があり、今まですぐに受診していた事でもためらい、受診が遅れることがある。自分の歯科検診も、間隔を今までより空けるようお願いしている。(49 歳・N/A)
- ・歯科検診を 2 回から 1 回にして医療費を安くしている。できるだけ受診しないようにしている。(65 歳・3 割)

#### 受診をためらった結果、悪化してしまった

- ・歯科の定期受診(3 ヶ月ごと)に通えなくなり、その間に進行してしまった歯周病により、虫歯の進行とは別に、2 本の抜歯をせざるを得なくなってしまった。歯周病は他の大きな病気を誘発する元凶であることが判明しているのだから、国の医療費負担を軽減するためにも、歯周病予防や治療の補助を国で制度化してほしい！(67 歳・0 割)
- ・新型コロナウイルスの影響により収入が減ってしまい、自分自身もコロナウイルスに感染し、休んだ

ことにより給料が激減した月がありました。その時期に歯科で治療を行っていたのですが、医療費の支払いまでお金が回らず、治療を断念せざるを得なくなりました。その結果、病状が悪化し、歯茎切開の手術をすることとなり、より多くの医療費が必要となりました。治療を断念したことを後悔しています。  
(28 歳・3割)